令和８年度
東毛地区社会教育関係職員等研修講座

〈期日〉令和８年１０月２２日（木）　〈会場〉邑楽町役場　３階大会議室

東毛地区の生涯学習・社会教育の推進に向け、各市町の社会教育行政に携わる職員の資質の向上を図ることをねらいとした「東毛地区社会教育関係職員等研修講座」を開催しました。今回は、子どもの権利条約やアドボカシーについての理解を深め、こどもや若者の声を尊重し、社会教育行政に生かしていくための視点を学ぶ研修を実施しました。当日は、２０名の方に参加していただき有意義な研修講座となりました。

テーマ　子どもの思いを「聴かせてもらう力」を育てる

講 義　みんなの声が未来へのヒント
～子どもの権利条約とアドボカシーの観点から～

講 師　子どもアドボカシーセンター☆ぐんま☆
代表理事　**豊島　美和 氏**

講師の先生からは、「なぜ今、こどもの声なのか」を、国の動向やこどもの権利条約と絡めて説明していただき、子どもや若者の声を尊重し、社会教育行政に生かしていくことの重要性・必要性についてお話いただきました。また後半は、話を「聴く」から「聴かせてもらう」ということについて、アドボカシーの観点からペアワーク等の体験も取り入れながらお話しいただき、子どもとの関係づくり・環境づくりが大切であることをご教授いただきました。





参加者の声　～アンケートより～

・子どもアドボカシーという言葉を初めて聞き、今回の研修を通して理解を深めることができました。
・まさにタイムリーに必要なお話を受講することができました。たくさんの気づきが勉強になりました。
・子どもとの関わり方についてたくさん学ぶことができました。また、今日学んだことは、人として人との関りでも重要なことがたくさんありました。
・今回の講座での学びを大切に、日々の業務に活かしていきたいと思います。
・優しい話し方で、事例やワークがあり参加型で、入りやすい研修でした。

〈主催〉群馬県教育委員会　〈主管〉東部教育事務所